



## 中学生163分

公立の中学ではやっと中間テストが終わりました。高校生や私立中学に通う人は7月に期末テストがありその準備が必要ですが、ほとんどの人は、なんとなく気が抜けた状態かもしれません。でもこの時期に習うことが夏休み明けすぐに待っている期末テストの範囲です。直前になって慌てる人ほど、普段の準備ができていないことを自覚して、学校での勉強、塾での学習に取り組んでください。

さて、かなり前の通信に iPhone3 を便利に使っているの周りの人にも勧めていることを書いた記憶があります。その当時はまだスマホという言葉も一般的ではありませんでした。それが今や高校生はもちろん、中学生への普及が1年ごとに広がっている実感があります。この塾でも保護者のみなさんが持っていらっしゃることを前提に comiru システムを導入しましたし、去年の暮れからは中3と高校生を中心にロイロノートのアプリを使って塾にいない時にも質問できるようにしました。これはスマホやタブレットを持っていればじめて活用できます。

しかしこの便利なデジタルデバイスが子どもたちの時間を奪っているとしたら危機感を感じざるを得ません。昨年の内閣府の調査では、ネットにつながっている時間は、小学生が1日平均118分、中学生が163分、そして高校生では217分だといいます。中学生の日常の3時間近くということは、学校生活や家族との会話、さらには食事の時間や睡眠の時間でさえ削っている人もいることでしょう。しかし「すぐに取り上げるべきだ」とか「親が時間制限すべきだ」という対応では済まないと思います。無駄だと思うコンテンツを自分で判断できるチカラや、どう効率よく使うかと考えるチカラ、自分で時間管理できるチカラ、そして自分を守るセキュリティ能力がこれからは必須となるからです。ネットとデジタルデバイスは、自分の興味の幅を広げる道具、今まで知らなかった広い世界とつながる手段としてますますその存在が重要になってくるでしょう。この夏、その付き合い方をじっくり考えてみてはどうでしょうか。